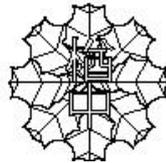


檜原中だより



令和7年6月9日

八王子市立檜原中学校

校長 深瀬 健志

<令和7年度6月号>



【教育目標】

- 深く考え自ら学ぶ生徒 (知)
- ◎思いやりのある心豊かな生徒 (徳) <自他にやさしく> (重点)
- 健康でねばり強い生徒 (体)



50回目の体育大会

校長 深瀬 健志

新緑が眩しい季節が訪れました。先日までの雨が嘘のように、先週後半は心地よい晴天に恵まれ、ようやく体育大会(学年別による団体競技のみ)を実施することができました。緑色に囲まれた広々とした校庭で、元気よく活動する子供たちの様子を見ることができ、本当に良かったと思います。

今年度の体育大会の実施に向けて、いくつかの『目的(目標)』を立てました。まず、クラスや係活動を通して、自己決定・集団決定の場面を作り、主体性の習得と心の力の強化を目指すこと、クラスや学年の所属感や連帯意識を高め、互いを尊重する意識や自己有用感の醸成を目指すこと、心身の健全な発達や体力の向上を図ること、というものです。そのため、本番まで多くの時間を費やして準備を進めました。しかしながら、今年度は天候に恵まれず、体育大会当日は雨、予備日も雨ということで、大幅な予定変更により先週末の学年別体育大会の実施となりました。

体育大会予行では、「全力の失敗には価値がある。」という話をしました。学年別体育大会当日は、「失敗しないことではなく、一生懸命やることが最も大切なことであり、自分自身が得るものはとても大きく、周りの人に与えるものもとても大きいもので、他には代えがたい素晴らしいものである。」という話をしました。学年別大会当日は、50回目にふさわしい思い出に残るものにしたいという気持ちと、生徒たちが一生懸命準備してきたことへの感謝の気持ちから、本番に近い会場づくりをしました。生徒たちは、幾度の変更にも悲しい思いをもちながらも、最後の最後まであきらめずに全力で駆け抜け、またそんな仲間にも声をかけ、拍手を送り、精一杯取り組みました。ラジオ体操や開会式、閉会式でも気持ちがそろった立派な態度で臨んでいたと思います。一生懸命やることの素晴らしさを強く感じさせられた素敵な時間だったと思います。このような表現力が檜原中の伝統として引き継がれているのだとつくづく感じさせられるとともに、これからも引き継がなければいけないのだと痛感しました。全校生徒でこの時間を共有できなかったことは大変心残りですが、全校スローガン『檜原半世紀の乱～繋がる心～』の通り、一人ひとりが熱い思いをもって、各クラスが心ひとつになり、50年という節目に堂々とした態度でやり遂げた、立派な体育大会だったと思います。

今年度の体育大会では、急な予定変更があり、ご迷惑をおかけしたことお詫びいたします。

学年別体育大会は3学年に分かれての実施でしたが、合計500名という数多くの地域・保護者の皆様にご来校いただくことができました。想像以上の数の多さに驚くと同時に大変嬉しく思いました。また、当日の温かい拍手やご声援が子どもたちの一生懸命をさらに引き出してくださったこと、本当に感謝いたします。

学校では様々な目標を立てて教育活動を進めております。今回の体育大会を通して、子どもたちはお互いを理解しながら多くを学び、確実に成長しています。これからも、今まで同様、子どもたちの成長を温かく見守っていただくとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

学年別体育大会トピックス

6月5日(木)に1学年・3学年、6日(金)に2学年と7組が学年別体育大会を実施することができました。生徒は体育大会で練習を積み重ねてきた成果を発揮しました。学年種目(1年:台風の目 2年と7組:大縄跳び 3年:ムカデ競争)、全員リレー、選抜リレーを実施しました。各学年では生徒同士で声を掛け合い、心一つに頑張りました。また、開会式、準備体操、閉会式に対しても各学年でしっかりと取り組むことができました。



選手宣誓



クラス旗の紹介



学級対抗リレー



学年選抜リレー



1年 台風の目



2年 大縄跳び



7組 大縄跳び



3年生全員の円陣



3年 ムカデ競争

不登校をテーマとした保護者サロンの開催について

教育委員会では、不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を開催いたします。講演会の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みをわかち合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1.対象	市内在住で小・中学生の保護者
2.日時	6月28日(土) 午前10時～正午
3.会場	教育センター 大会議室 (八王子市散田町2-37-1)
4.内容	(1)講演「不登校の子どもたちの声」 ～子どもたちとのかかわりから見えてきた「気持ち」と「これから」～ 講師 特定非営利活動法人 青少年自立援助センター 山本依里子様 (2)小グループでの話し合い
5.定員	60名(先着順)
6.申込み	高尾山学園内 教育指導課登校支援担当(電話:663-3216)にて受付いたします。